

会 議 要 旨 (全文録)

| | |
|--------------------------|--|
| 会議の名称 | 印西地区環境整備事業組合 印西地区ごみ処理基本計画検討委員会 第2回会議 |
| 開催日時 | 令和4年6月19日(日)午後2時00分開会 |
| 開催場所 | 印西地区環境整備事業組合 3階 大会議室 |
| 議長(委員長)氏名 | 大迫 政浩(国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 領域長) |
| 出席者(委員)氏名(人数) 敬略称、順不同 | 大迫 政浩(国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 領域長) 中山 育美(公益財団法人 廃棄物・3R 研究財団 企画部 上席研究員) 村上 重徳(公募による選出) 鹿目 修(公募による選出) 梶山 正信(公募による選出) 福島 壽彦(公募による選出) 池田 久美子(公募による選出) 小熊 清(印西市廃棄物減量等推進員) 山谷 修作(白井市廃棄物減量等推進員 副会長) 福本 朋子(栄町廃棄物減量等推進員) 角鹿 智章(印西市立高花小学校 校長) 坂野 仁(白井市立白井第一小学校 校長) 寺内 勝也(栄町立布鎌小学校 校長) 祢津 俊之(イオンリテール(株)イオン千葉ニュータウン店 人事総務課長) 平川 昌宏(進光園緑化(株) 代表取締役) 船越 勝行(日本食研ホールディングス(株)千葉総務部 次長) 計 16 名 |
| 欠席者(委員)氏名(人数) | 欠席者なし |
| 事務局 | 印西地区環境整備事業組合(印西クリーンセンター) 勝田 博之(工場長)、渡辺 祐(主査補)、長沼 徳雄(主査)、海老原 雅美(副主幹)、大野 喜弘(副主幹) |
| 市・町 | 組合関係市町 藤巻 孝(印西市 課長)、竹田 忠夫(白井市 課長)、 塩崎 一郎(栄町 課長) |
| コンサルタント | コンサルタント 応用地質株式会社(4名) |

| 発言者 | 内容 |
|--------------------|--|
| 次第1 開会 | |
| 司会 | 定刻となりましたので、これより第2回検討委員会を開催させていただきたいと思ひます。大迫委員長より挨拶をお願いいたします。 |
| 次第2 委員長あいさつ | |
| | (大迫委員長あいさつ) |
| 次第3 議題 | |
| 委員長 | <p>それでは、早速議題のほうに入りたいと思ひますが、その前に本日の議事録署名のお願いをさせていただきたいと思ひます。梶山委員と福島委員にお願いできればと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>では議題に入ります。(1)印西地区環境整備事業組合の現状と実績について、事務局のほうからご説明よろしくお願ひいたします。</p> |
| 事務局 | (1) 印西地区環境整備事業組合の現状と実績 説明 |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>数字の説明がたくさんありましたが、どれも大事な数字だと思ひました。なにかご質問等ございますでしょうか。</p> |
| 鹿目委員 | <p>前回計画との比較ですが、18ページからの「ごみ排出量の現状」で、総ごみについて、原単位も60.7位上回っている。家庭系ごみと事業系ごみも当然上回っている。しかし、総ごみについては、国の基準はほぼ達成できそうだという現状ですかね。</p> <p>しかしながら、前回計画と比べてみると上回っているんで、更なる家庭系ごみ・事業系ごみの削減が求められるという現状なのではしょうけれども、その中で、今年の4月、国の指導といいますか、基準が示されました。</p> <p>自治体に対しての努力義務、拡大版プラスチックごみの回収ですね。これによっては、ごみの減量、資源化の増につながるかと思ひますが、しかし一方、処理施設というのは、熱量の発生装置でもありますので、どういう方向で対応していくのか、事務局の見解をお聞きたいと思ひのですが。一方はごみの減量につながる、ですがエネルギー施設としての役割はどうなるのか、そういうことも踏まえてどうでしょうか。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>それらのことも、今回の議論、基本計画の検討で大事なポイントになると思ひます。答えは今すぐというのは難しいかもしれませんが、どういう問題意識を持っていますかというところ、委員の発言を受けてどうでしょうか。同じような問題意識持っているという理解でよろしいでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>プラごみの回収の関係につきまして、クリーンセンターから答えさせていただきたいと思ひます。</p> <p>委員がご関心の通り、4月に施行されまして、プラごみの回収について、4月から出来るかどうか、構成市町の皆さんとも話し合いを進めながらやってきたのですが、千葉県の方にも確認したところ、プラごみの分別回収について、</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>なかなか国のほうからも分別基準が出るのが遅かったこと、それから処理する事業者の関係等で、この4月から新たに取り組んでいる自治体はないというふう聞いております。私共のほうでも、取り組めるような企業があれば、構成市町の皆さんともお話ししながら、またこの検討委員会の議論を踏まえながら、今後どうしていくか検討させていただきたいと思っております。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> |
| 小熊委員 | <p>17ページの事業系ごみの収集概要のところですが、この中で「ごみ処理に関する取扱い要領により受入基準が定められています」と書いてありますが、その下にある表のところでは「受入区分」となっていて、可燃・不燃・粗大の3区分となっている。42ページで家庭系の燃やすごみが組成分析されている。それぞれ自治体の分でも、組成分析されたりしているけれども、実際に他のいろいろな自治体をみると、事業系ごみのピット前の直前確認というのをやっている実績があります。</p> <p>実際にクリーンセンターでは事業系のピットのところから燃やす前の組成分析ではないですが、受入基準が守られているかどうか、確認みたいなことはあるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>事業系のごみにつきましては、年1回程、ピットに入れる前に展開検査という形で、無作為に抽出した事業者さんのごみの内容について確認させていただいております。</p> <p>その中では、たまにプラの混入があったりする場合があるのですが、そういった場合には事業者さんにこういったものは混入しないようにということで、指導させていただくと共に、そのデータを構成市町の環境担当の方と共有して、分別等の徹底を諮っている状況です。</p> |
| 小熊委員 | <p>どのくらいやって、どの程度資源物が混入していたかの数字というのはありますか？</p> |
| 事務局 | <p>展開検査のデータについて、今手持ちデータがないのですが、細かい組成分析のような形ではなくて、例えば燃えるごみに不燃ごみがどれくらい混入しているかとか、そういった類でやっていたものです。聞かれている内容ほど細かい組成分析は行っておりません。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> |
| 梶山委員 | <p>19ページのグラフのトレンドをみて、たぶんコロナは令和元年度から発生していると思うので、平成30年度では乖離し始めた数字はコロナの要因ではないと思うのですが、そういう分析も含めて、前の計画でPDCAのことを言われましたけれども、要はTPS、トヨタ生産システムでも言われますが、やるべきことをやった上で、このデータになっているのか。それともやろうとしたことが出来なくてこのデータになっているのか。仮説検証をしないと、次にどういう手を打っていいかわからないので、そのへんの分析はどういうふうに行われているのでしょうか。</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>今の質問にお答えさせていただきます。</p> <p>委員のご発言の通り、コロナ禍による影響につきましては、令和元年頃、外出自粛等が始まりました。又、台風等災害ごみの受入れもこの年に多くございました。</p> <p>委員が言われた PDCA の検証につきましては、この後の施策の取組状況というところで、委員が望むような検証結果になっているかどうかお答えしにくいのですが、施策に対する検証についてはお話をさせていただこうと思っております。</p> |
| 委員長 | <p>取組については次の議題ですが、おっしゃるように、コロナ前から少しずつ増えているのではないかとこのころは誰もが疑問に思うところでもあるので、そういったところが施策との関係もあります、なかなか施策だけでは効果がでなかったのはどういう要因なのかというところは、今後のポイントでもあるのかなと思います。</p> <p>コロナは年明けで 2 月 3 月からで、令和元年の年度末、若干影響があったかもしれませんが、平成 30 年から少しずつ低下傾向がなくなってきていますし、今からそういったところを分析するという理解でよろしいでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>これから分析していくことになると思いますが、現状のところ、人口の増ですとか、事業者が増えているという報告をさせていただきましたが、傾向としてはそういったこともあるのかなと思っておりますが、細かい分析については、申し訳ありませんが、ここで申し上げる資料を持っておりません。</p> |
| 梶山委員 | <p>人口の増加は言われていますが、人口トレンドは予想通りなので、ここでの要因はないと思います。この要因ではない要因で、こうなっているということは踏まえて分析された方がいいと思います。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>事業者が多くなって、事業系が +α のなかで原単位が大きくなっているのかなと思ったりしましたが、そればかりでなく、家庭系の問題になりそうなので、そこら辺は分析したほうが良いと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> |
| 福本委員 | <p>先ほどの説明、これらの資料はとても大事で、この分析結果の表についてはとても大事だと思います。</p> <p>私自身は栄町に住んでいるので、栄町の人口は減っているとか、元々一人当たりの排出量も少ないとか、そういったことがよくわかっていますが、今の概要に関して、現状と実績を皆さんそれぞれ読んで、理解されたと思うのですが、思う事があると思います。</p> <p>発表してくださった事務局のほうも、この現状を見て、これだけの分析をされて、なにか思うところとか、今淡々と結果だけを聞き、今後計画を立てるにあたって、思う事をそれぞれ集めながら計画を立てていくことがとても大事だと思います。</p> <p>今後のところ出てくるかもしれませんが、今、説明受けたあとであれば、</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>皆さん頭の中に残っているので、そのあたりをもう少しこの場で、事務局のほうから分析結果を説明されて、こうでしたよっていうだけではなくて、なんらかのコメントをいただければと思います。</p> |
| 委員長 | <p>各構成市町のほうからも、ぜひ現場を見ておられると思うので、コメントいただきたいのですが、改めて、こうやってまとまってきて、日頃からのデータに基づいて、年度ごとに考えて行くということも大事ですが、そこまで十分にいきわたっていない場合もありますし、こうやってデータが整理されてきたところも、今度は現場感覚も含めて、どのような形でこれらをとらえているのかとか、あるいは、ここがこうなっているのは分からないとか、分からないことでも言っていただけると、そこが今後大事なポイントになってくるかと思えます。</p> <p>まずは組合さんのほうから、今回まとってみてどういった印象もっておられるか等、ありますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>今のご質問にお答えさせていただきますと、組合といたしましては、構成市町さんと施策の達成状況ですとか、現状については、担当者会議等で意見交換させていただいております。</p> <p>詳しいところは、構成市町の皆さんの方が分ると思いますが、いくつか事例を上げてご説明させていただきますと、印西市さんにつきましては、流入人口が多いことから、ごみの分別ですとか、減量化に向けた PR をするのが難しいと聞いております。</p> <p>PR 活動につきましても、本来やるべきところを、コロナ禍によって PR の事業が行えなかったと聞いております。そういったところは、印西市だけでなく、白井市、栄町等で行われた結果、当初の目的よりも達成できていないのかなという印象はあります。</p> <p>詳しくはこの後、それぞれの施策について、どういう形で取り組んで、どういった課題が残ったかということは、構成市町の方からご説明あるかと思いますが、私の印象としてはこのようなところです。</p> |
| 印西市 | <p>先ほどの PR が難しいという話は、現実問題、住民説明の機会の場が、コロナの影響で減っているというのは事実になります。ただ、施策をしていないわけではないので、その中でも当然、転入・転出の方には説明しておりますし、市の環境月間にあわせまして PR イベントを行いましたけれども、コロナ禍というだけで、単純に厳しいということではなくて、令和 2 年度は、各参加団体の方の活動について、オンラインで手当てをしていたり、やれることはやっているのかなという思いはあります。ここ 2～3 年、外に出ていく機会というのは減ってしまったという事実があります。</p> <p>減少傾向にあったのが、ここ 1、2 年で増加に転じてしまったというのは、他の白井市さん、栄町さんも同様の傾向なのかなと思いますが、内訳をみますと、可燃・不燃については、他の自治体さんと横ばい程度、粗大ごみの比率が多めに出ているというのは、地域性というのもあって、日常生活以外の家庭か</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ら発生するごみを持ち込みやすいという部分も、要因としてあるのかなと思いますので、その辺については、施設側とも調整しながら、同じレベルの基準になればと考えています。</p> <p>これまでの各市町さんの取組の歴史みたいなものもありますので、特色はそれぞれ違うのかなとも思いますけれども、啓発が大事だということで、次の資料の中で個別にご説明できるかと思いますが、イメージとしてはそういったところです。</p> |
| 白井市 | <p>印西市さんと同じように、住民への啓発の中で、住民の中に入り込んでいくという機会が減っていったということは事実です。市側から入っていくということもあるのですが、逆に住民側から来てくれるなというところもありました。</p> <p>白井市として注目してみたいところは、事業系ごみについてなんですけれども、家庭系については新型コロナ、あるいは新生活の様式の変化等もあって、若干の増加、令和3年度では減少というふうに推移したのかなと思うのですが、事業系については、増える傾向になっているのを見たときに、細かい話ですが、コンビニエンスストアが最近店内にごみ箱を置くようになって、減ってきているところ、外に置いてあるところでは逆に増えたりしているようで、そういう部分もあるのかなと。</p> <p>もうひとつは、介護施設等においてのごみの増え方についても、白井市としては着目しておこうかなと考えているところです。</p> <p>そのような中で、今後のごみの資源化・減量化というところを、家庭系・事業系あわせて検討しなければならないと思っております。</p> <p>それと4月に施行されたプラスチックの資源化、これについても組合・構成市町と連携をとりながら進めていきたいと考えております。</p> |
| 栄町 | <p>栄町からお答えさせていただきたいと思います。</p> <p>栄町のほうは、皆様27ページを見ていただければと思います。一番下の図3.3-9、黄色の線が栄町になるわけですが、栄町はごみの減量化計画というのを平成25年度から始めております。</p> <p>ごみを減量化するため、いろいろな施策を行っているところですが、まず栄町全体の組成分析、これは燃えるごみに対して行っているのですが、どこの市町村もですが燃えるごみは一番多いもので、その中で、他市町村と少し違う動きをしているものがあります。</p> <p>栄町は組成分析の中で、プラスチック類について、組合さんでは多い数値が出ておりますけれども、栄町ではさほど多い数値を示していない状況です。</p> <p>栄町では生ごみが非常に多くて、燃えるごみの中でいうと50%程度を占めております。栄町としては、燃えるごみに特化して、平成27年度からいろいろな施策をモデル的に実施しております。</p> <p>例えば、例を申し上げますと、生分解性袋、土に戻るような袋を利用して堆肥化する事業や、EM菌をつかったり、水切りバケツをつかったり等、現在は</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>生ごみそのものを直接堆肥化するような事業ということで、ピンポイントで特化して事業を行っております。これらは次の取組状況で説明することになるかと思いますが、それらの説明と同じになってしまうのですが、それらをやりました、平成30年度までは減少を達成していたような状況です。</p> <p>令和元年度につきましては、9～10月の台風、大雨の影響、2～3月からはコロナの影響、これによって増加したというようなことで分析をしております。令和2年度のほうは、もろにコロナの影響を受けまして、栄町は住宅地なので、住宅にいる時間が長くなれば、自然とごみも出てしまう。令和3年度については、それらに慣れてきたという感じで、令和2年度にごみをいっぱい出したので、令和3年度は減少傾向が大きくでているような感じもあります。</p> <p>また、栄町でのモデル事業でも、生ごみに特化して、令和3年度では43t程度、生ごみだけを回収してそれを堆肥化する等の取組を行いまして、減少するよう努力をさせていただいております。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>私もぱっと見て、事業所で福祉関係が増えていると思ったら、先ほどおっしゃっていたように介護の関係等で事業系も注意深く見ていくというお話もありましたし、令和元年度は台風があったというお話もあったので、後半はコロナでしたけれども、その前も増加原因があったようです。</p> <p>要因分析について、ヒントをたくさんいただいたので、そういったところを整理していければと思います。ありがとうございました。</p> |
| 山谷委員 | <p>29ページのところですが、以前から栄町の集団回収量、これが原単位ベースで非常に高いというのは、歴史的な経緯等あるのではないかと思います、そのあたりを教えていただければと思います。</p> |
| 栄町 | <p>集団回収につきましては、自治会さんのほうにお願いして、直接自治会で契約してやっています。</p> <p>キロあたり4円だったと思いますが、自治会にお支払いして、自治会活動に少しでも役立ててくださいということで、そういった取組によって、町で集める資源物よりも、自治会さんで集める資源物のほうが多い状況になっております。</p> |
| 山谷委員 | <p>栄町さんの場合は、地区回収みたいな位置づけになっているのでしょうか。</p> <p>子ども会や集合住宅の自治会等ということではなくて、すべての地区で回収しているという形のところは、かなり回収率が高いケースが多いようですが。</p> |
| 栄町 | <p>自治会地区だけではなく、子ども会等にも回収にご協力いただいております。</p> <p>ただ、栄町は全般的に子どもの数が少ないので、比較すると、子ども会、老人会もあったかと思いますが、そういったところよりも、自治会のほうが多く集まっている状況ではあります。</p> <p>これらが全地区かというのと、希望というか、自治会ごとの契約になりますので、やらないという地区もないわけではないというのが現状でございます。</p> |

| | |
|------|---|
| 委員長 | <p>注目すべき情報だとおもいます。</p> <p>国レベルでもなかなかリサイクル率が上がらないとか、排出量は違う部分もありますけれども、要因を分析する中で、全国的に集団回収量がどんどん減ってきておまして、地域の状況が変化してきている中で、可燃ごみの増加、リサイクル率低下の要因になっているのではないかということは、いろいろなところで出ておりますので、各市町の比較の中で、地域の状況がどう関連しているのか、違いを見るというのは大変重要なことかなと思います。</p> <p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> |
| 小熊委員 | <p>今の栄町の件ですが、組合さんのほうのデータから、私の方で別のグラフを作った結果、集団回収率が栄町さんは約70%でした。行政回収よりはるかに多いです。印西市・白井市はやっと20%台でした。</p> <p>実際に栄町さんのお話を聞いたら、大きな団地が4か所あるので、同時に入居された方が、同じような生活をして、みんなで出すという、そういうのが一番大きいのではないかというお話を聞きました。</p> <p>印西市ですと、新しい市街もあれば、旧市街もある構成で、バラバラのため、集団回収というのも辞めてきている傾向にある。実際に団体数が落ちてしまっていて、子どもが少なくなっていて、子ども会がなくなってしまう等、そういった関係もあるかと思う。</p> |
| 委員長 | <p>各市町の状況も違うかと思いますが、集団回収をどう考えて行くのかということも大変重要なことだと思いますし、私は民間回収等との関係がどうなっているのかということも今後分析していただきたいなど、民間回収というか、こちらのごみに入ってこない民間の中でやられているような世界もふくらんでいくと、排出量が減っていくということにもなるかと思います。また、集団回収した後の古紙とかが、ちゃんと値段が付いて、流れていっているのかどうかということも、外の状況とも関係するところなので難しい点もありますが、そういったデータからもいろいろなところが見えてくるのではと思います。</p> <p>まだまだあるかと思いますが、時間も押しておりますので、データ眺めながら、この後の議題の市町の取組状況をお聞きいただければと思います。</p> <p>前回計画後の施策の取組状況について、事務局からご説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | (2) 前回計画後の施策の取組状況 説明 |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それではご質問等ありますでしょうか。</p> |
| 鹿目委員 | <p>施策名1「食品ロスを減らそう」ですが、食品ロス、つまりはフードバンク的な、貰い物で自分では食べない物を置くような置場を設けているスーパー等があると思います。その辺のデータ、あるいはそういったお店を増やす施策等は考えているのでしょうか。</p> |
| 栄町 | <p>栄町では、フードバンクは社会福祉協議会さんの方で、各家庭にお願いしていただいている。私共の事業ではなくなってしまうが、そちらで実施させてい</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>ただいている。</p> |
| 印西市 | <p>店舗への働きかけはしておりませんが、先ほど少し触れました啓発事業で、環境フェスタというのを6月にやっています。そこで社会福祉協議会と連携しまして、通常は社会福祉協議会のほうで受付しているのですが、イベントに参加していただいて、フードロスのPRと、受付場所というのを設けさせていただきました。</p> <p>今後はもう少し目に付くような形で啓発してまいりたいと考えています。</p> |
| 白井市 | <p>白井市は今までのものに付け加えますと、今年度から新たに食品ロスについて、高校の家庭科部と食品ロスにしないようなレシピづくりというのを連携しながら取り組んでいこうということで、展開を進めようと考えているところでございます。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>新しい取組は次の計画の中にも明示していただければと思います。</p> <p>他にご質問いかがでしょうか。</p> <p>私からは、施策11「ごみ処理有料化について考えよう」ですが、有料化に関して議論いただいて、現行計画の時にも検討しましょうということだったのですが、期限を決めて何年度までにはなにかしら、やるにしてもやらないにしても、印西地区の方で答えを出そうといった議論の建付けにはしていなかったという理解でしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>委員長がご指摘の通り、現行計画では有料化について検討しましょうということで、記載されております。</p> <p>いつまでにこういうことを決めていきましょうというのは決まっていなかったものですから、組合としてはごみの共同処理という観点から、それぞれの市町の有料化における住民との準備等を加味しながら進めていければと思っておりますが、今回の計画の中でそういったことを決めていただくような話が進めば、そのように進めていきたいと考えております。</p> |
| 梶山委員 | <p>今の件で、現状が良く分からないので教えていただきたいのですが、栄町は有料化されているという話ですけれども、キログラムいくらで有料化されているのか。私は白井市ですから、ごみ袋は買っているけれども、あれは有料とはとらえないという判断かと思うのですが、でしたら、有料とはどういうもので、だいたい、いくら水準を考えているのかという話を教えていただくと助かります。</p> |
| 栄町 | <p>栄町の方は、有料化というのはかなり前からで、私も調べたのですが、いつから始まっているのかわからないのですが、昭和54年にはすでに有料化を始めておりまして、その頃からずっと有料化している状況でございます。</p> <p>ごみ袋のほうは、もちろん町で作っておりますので、実際には作成費も関わってくるのですが、単位がわからないのですが、例えば可燃の大きな袋だと1枚48円とかですね。印西市さんのほうだとおそらく10円くらいで販売されていたかと思いますが、ほぼ同等の大きさと38円くらい栄町のほうが高く販売</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>している状況であります。</p> <p>栄町では、収益につきましては、ごみの処分費というよりも、収集運搬費にあてております。ごみを運ぶための経費のほうにあてさせていただいております。</p> |
| 福本委員 | <p>栄町の住民として、ずっとごみ袋を使っているのですが、少しお話をすると、私は平成元年に栄町に引っ越してきて、最初にごみ袋の指定の物がなかったんですけども、3~4年後にごみ袋をこれに入れられないといけないという時から、あまりの値段の高さに目が点になって、本当に高いので、10枚セットで500円とかするので、とにかくごみは減らさないといけないという思いが起きて、一生懸命ごみを減らしました。</p> <p>たぶん白井市さん、印西市さんはとても安いと思います。それを値上がりするとすると、主婦の皆さんとかは安い方が良いに決まっているので、なかなかハードルは高いと思います。ごみを減らすという大きな理念ももちろん大事ですが、家庭の節約というところと連携している部分もあるかと思います。</p> <p>私がびっくりしたのは、燃えるごみの中で紙が多いじゃないですか、それに関して、取組状況のところにもあまりなかったけれども、私は紙はごみ袋に入れて出しません。栄町は資源回収というよりも、集団回収が多いってご意見ありましたけれども、集団回収もそうですが、スーパー等に回収してくださっていて、イオンさんもそうなんですけど、段ボールもそうだし、パックも。そういう連携はとても大事だと思います。</p> <p>どうして私が集団回収に出すかというのと、どんな袋に入れても持って行ってもらえるからです。あとは、集団回収はすべて網羅していないので、電球だったらケーズデンキに出したりしています。</p> <p>町に出すと高くなるので、節約の理念プラス、ごみを減らす喜びがあるというところまでご参考まで。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>栄町の現状でしたけれども、全国的な現状を私がお話するよりは、山谷委員に有料化で平均的に一袋いくらからいなのかとか、全国的にどれくらい普及しているのかとか、ご発言ありましたらお願いいたします。</p> |
| 山谷委員 | <p>1リットル1円程度というのが平均ですかね。</p> <p>今有料化をとということで住民説明を始めた浜松市では、私も動画作成で協力したのですが、つい2、3日前に1リットル1円ということで、具体的な制度を提案しまして、説明を始めたところです。その場合、可燃ごみでみますと、だいたい15~20%くらいは減量効果でるのではないかと思います。ただ、浜松市の場合は減量効果については、2つの要素があると思います。</p> <p>一つは価格効果。もう一つは見える化効果。つまり、中身の見える袋に手数料を上乗せして買ってもらおうという形をとりますので、今までレジ袋でだしていたところから有料化しますと、可燃ごみは見える化効果で5%程度の減量効果があり、トータルで20%程度の可燃ごみ減量効果が得られるとされて</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>います。</p> <p>印西地区の場合は、既に指定袋制度を取られていますので、そこまで大きくないかもしれませんが、それでも 10%台半ばくらいの可燃ごみの減量効果が得られるのではないかなと思います。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>全国の実態や効果、どういうところだったら効果が発揮するかとか、どういう施策とミックスするとさらに効果が持続するかとか、様々な知見があると思います。</p> <p>いろいろご意見いただきながら、本件の大事なポイントとして、今後議論できればなと思います。</p> |
| 鹿目委員 | <p>施策名 9「リユース、リサイクル商品を活用しよう」の項目で、栄町さんの「粗大ごみ受付時の協力依頼」の中で、「リユース・リサイクル商品を活用するように粗大回収受付時に協力を呼び掛ける」というのがありました。リサイクルショップもたくさんあるのでお金になりますよなどの呼び掛けをすることで粗大ごみが減るのではないかなと思います。</p> <p>つまりは、受付時にクリーンセンターに電話を掛け、タンス、椅子が出たのをお願いしますと言うと、受け取った側が例えば使える状態だったら、民間のリユース店があるので、お金になりますよというような働きかけをすれば、プラスにもなるし、ごみの量も減るし、本人のお金にもなるし、こういうのはいいと思います。</p> <p>栄町に限らず、印西市・白井市もこういう展開をやっていったほうが良いのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p> |
| 白井市 | <p>取組の事業実績のところ、ごみの捨て方や粗大ごみの問合せに関する民間のリサイクルショップの活用ということで、白井市のほうは実施しているところでございます。</p> <p>ただ、課題としては特定の業者を案内するとか、そういうことは行政としては立場的に出来ないというのは、ひとつの課題かなと考えております。一般的なリサイクルショップをとということで、ご案内しているところでございます。</p> |
| 印西市 | <p>印西市も白井市さんが言われたように、リサイクルショップの活用であるとかについては啓発させていただいております。</p> <p>また、リサイクル情報広場というところで、市独自で、ある方が不要になったものを希望者にお伝えする制度を設けているのですが、令和 3 年度については、これまでより倍程度の成立件数になりまして、その要因としては、今まで HP、広報誌の啓発だったところを、問合せがあった時点で、ツイッターであるとか、分別アプリのほうにプッシュ機能で通知することで、随時情報が得られる形をとりましたので、成立につながったのかなと思っております。</p> |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>時間も押して参りましたので、いろいろご意見、ご質問については、委員会終わった後でも事務局に言っていただければ、次回にでも役立てられるところ</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>は役立てていきたいと思っております。</p> <p>次は(3)、(4)をあわせて説明いただこうと思います。</p> |
| 事務局 | <p>(3) 循環型社会形成にかかわる環境行政の動向 説明</p> <p>(4) 災害廃棄物処理計画の概要 説明</p> |
| 委員長 | <p>ご質問等ありましたらよろしくお願いたします。</p> <p>プラ新法が出来たので、全国各自治体どう対処するかというのは、少しずつ動き出すと思いますけれども、そういった部分も勉強しながら進めていければと思います。</p> <p>それからカーボンニュートラルですね、脱炭素というふうに言われていますので、例えば皆さんが、各家庭から一人あたり1年間でするCO2というのは、だいたい2000キロ位になります。その中でごみに関係しているものはだいたい70~80キロ位ということで、パーセンテージで言うと4%位で小さく、電気を使用するのが大きく占めているのですが、そうは言ってもいろいろな部門で2050年までに排出ゼロを目指さないといけない。30年には半分くらいは減らさないといけないというのがあるので、それをごみ関連でどのような形で対処していくかというのは考えて行かなければならないと思います。</p> <p>今日の資料で最初の2章、3章のところでは温室効果ガス排出量の集計がまだ終わっていないということがありましたけれども、総量だけの議論ではなく、自分達の身近な生活とどう関わっているのかということも、ぜひ一緒に考えられたらと思います。</p> |
| 鹿目委員 | <p>議題(3)の6ページのごみ処理基本計画目標年度との関係のページについて、この中でR7(2025)年度に、事業系ごみ排出量約1,100万トンとありますが、これは年間で全国から排出されるごみの量ですか？そして今の実績としては、どのくらいなのでしょう？その2点についてお聞きしたい。</p> |
| 委員長 | <p>これは総量を表して、全国から1年間1,100万トンくらい出るということですが、例えば家庭系だと「一人あたり」という言い方が出来るわけですが、それが事業系だと「〇〇あたり」というのが言えないところもあるので、ただ事業系ごみが現状から2025年までにどれくらい減らさなきゃいけないのかということの率みたいなものは、ここから計算したりします。その中の積み上げで全体の計画目標を作っているのですが、1,100万トンという数値だけではわかりませんが、そこから読み取れる減量はどこまでやらなければならないのかということも加味した中で、目標も改めて議論していくということになるかと思われまます。</p> <p>次は前回計画時にも行ったアンケート調査を今回も行って、住民の方、事業者の方の実態をつかんだ上で、参考にして計画のほうに反映しましょうということでございます。</p> <p>調査の完成度100%を目指すときりがない部分もございますので、簡単に説明だけ、どんな構成で作っているかということをお願いいたして、もし何かお気づきの点があれば、発送日がいつかということとあわせて、いつまでにご</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>意見くださいというような形にしたいと思います。</p> <p>簡単に説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | (5) 住民・事業所へのアンケート (案) 説明 |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>次回の7月10日の検討会でアンケートの最終確認が出来るけれども、その時点では、ほぼ出来上がったものになっているということで、今週の1週間程度で委員からご意見をいただいて、その上で事務局、構成市町と相談しながら、私と副委員長のほうで最後詰めて、次回検討会でほぼ正案を皆さんに確認いただくという段取りでよろしいでしょうか。</p> |
| 事務局 | そのような段取りでお願いいたします。 |
| 委員長 | ではそのような形で考えて行きたいとおもいますので、ぜひ住民のつもりで、あるいは事業者のつもりで、それぞれ立場があると思うので、回答するつもりで見ていただいて、ご意見等や、こんなことも聞いた方が次の議論に役立つのではないかといったご意見もあれば、ぜひお願いできればと思います。 |
| 船越委員 | 意見はどちらに言えばいいでしょうか？ |
| 事務局 | 意見については、メール、郵送、FAX なんでも大丈夫ですので、事務局まで送りいただければと思います。 |
| 委員長 | 皆さんメールでやり取りされているのであれば、word 版でも送っていただくと、そこに書き込むという形で意見だされたりするのかなと思いますが、皆さんのメールアドレスは把握されるのでしょうか。 |
| 事務局 | 把握はしているのですが、word や PDF に対応しているメールアドレスかどうか分かりません。word が見られない可能性もあるのではと思っています。 |
| 委員長 | 一応送っていただいて、それで対応できない方には、個別に意見をどう汲み上げるか考えていただきたい。 |
| 山谷委員 | <p>非常によく出来たアンケートだと思いました。</p> <p>心配なのは、はがきで出すということですから、1枚のはがきで納めるとなると、よほど小さい字で印刷するか、文章意見ですとおそらく1行書けるかどうかと思うので、そこだけ心配しました。ただ、1枚のはがき投函で済むというのは、回答率がすごく高くなるというのは間違いないと感じました</p> |
| 委員長 | 回収方法は検討しましょうか。 |
| 事務局 | 質問は紙で送って、回答ははがきで書いてもらう、番号だけ書いてもらうというイメージだったのですが、今確認したところ、自由記入欄をたくさん設けているので、回答方法についてはもう一度確認します。 |
| 福島委員 | 私は前回も参加させていただいて、前はメールで資料を添付いただいていたので、そればかりが横行するのは良くないという部分はあると思いますが、今後1年間やっていくにあたって、メールに word 添付というのは、早めに行ろいろなことが出来るのかなと思いますので、メールも併用するという形に変えていただいたほうがいいのかと思います。ぜひメールでの資料共有をお願いしたい。 |

| | |
|----------------|--|
| 事務局 | そのように致します。 |
| 委員長 | <p>皆さん慣れておられるし、出来ない方は個別に紙等で回答いただければと思います。</p> <p>以上で全体終わったのですが、もう少し時間いただいて、印西地区のごみ処理検討委員会報告事項ということで資料がありますので、概要だけ事務局からご説明お願いいたします。</p> |
| 事務局 | (仮称) 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業について 説明 |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>委員会のメンバーの方も、このような計画が進んでいるということをご理解いただきながら印西地区のごみ処理について一緒に考えていければと思います。</p> <p>時間オーバーしましてすみません。以上で終わりたいと思います。事務局にお返しいたします。</p> |
| 次第 4 閉会 | |
| 事務局 | <p>事務局から、次回の会議日程についてお知らせさせていただきます。</p> <p>お手元の日程表をご確認ください。こちらに記入してある通り、次は7月10日が会議開催予定日となります。同じく時間は14時からの予定となりますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>会議の開催通知が資料と同時に送ることになってしまうので、直前になってしまうところがあるので、この日程については特に変更がないものとして10日、14時からということでお願いいたします。</p> <p>もう一つ、アンケートの関係ですが、アンケートについて追加や修正等、ご意見等ございましたら、6月24日(金)までにご意見いただければと思います。連絡先につきましては、前回第1回検討会資料でお渡ししました事務局名簿の方にFAX、メールアドレスを記載していますので、こちらまで送っていただければ大丈夫です。</p> <p>もう一つ連絡事項として、6月29日の視察に参加していただける方ですが、視察先への質問を事前しておく必要があります。今日が提出期限だったのですが、もしお手元にお持ちの方いらっしゃいましたら、お帰りの前に私の方までご提出ください。以上です。</p> |
| 鹿目委員 | 後ほどメールでもよろしいでしょうか。 |
| 事務局 | メールでも大丈夫です。 |
| 委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>日程表にそれぞれの議題等も書かれてあるので、年間このような感じで議論していくということも見渡せる資料かと思います。ご活用ください。</p> <p>本日はこれで終わりしたいと思います。長時間活発なご議論ありがとうございました。</p> |